

要請先及び要請に対する反応

在日米海軍司令官（対応者：ゲッチマン海軍中佐）

- ・ 厚木海軍飛行場の現状、同飛行場における騒音軽減措置等について改めて周知を図り、徹底する。また安全対策についてもしっかりと行っていく。
- ・ 部隊は増えるが、最終的に航空機の機数が変わることはない。

厚木航空施設司令官（対応者：クンツ広報部長）

- ・ 新たに配備される航空機は、現在配備されている機種の改良型であり、騒音レベルにおいてこれまでと変わらない。
- ・ 引き続き、騒音軽減に向けて取り組んでいく。

外務大臣（対応者：河邊日米地位協定室長）

- ・ 航空機数は、入れ替えの関係で一時的に増えるが、運用数は増やさないため、飛行運用レベルは変わらないと聞いている。最終的な人数及び航空機数の変更はない。
- ・ 安全性及び騒音への影響などを米側へ申し入れており、地元住民へ迷惑がかからないように引き続き取り組んでいくとの回答を既に得ている。

防衛大臣（対応者：深澤南関東防衛局企画部長）

- ・ 今回の航空機の機種変更に関し、当方としても安全性確保と騒音緩和の重要性を強く認識しており、大臣にも趣旨を伝えている。
- ・ 厚木海軍飛行場における騒音軽減措置を遵守するとともに、安全対策の徹底を米側に申し入れたい。